

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 4 年 5 月 31 日

京都府知事 様

提出者



住 所 大阪府大阪市中央区道修町3-4-10

氏 名 飛島建設株式会社 大阪支店

執行役員支店長 中川勲治

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6227-0250

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和 3 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事 業 場 の 名 称	飛島建設株式会社 大阪支店 京都府管内事業場
事 業 場 の 所 在 地	京都府管轄区域内
事 業 の 種 類	06 総合工事業
産業廃棄物処理計画における 計 画 期 間	令和 3 年 4 月 1 日 ~ 令和 4 年 3 月 31 日

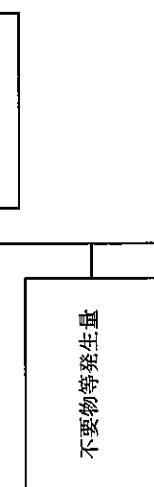
産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排 出 量	450 t	全 処 理 委 託 量	450 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	370 t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	再生利用業者への 処 理 委 託 量	450 t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t
※事務処理欄			

(日本産業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 建設汚泥 )



項目	実績値										
①排出量	70t										
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t										
⑤自ら熱回収を行った量	0t										
⑦自ら中間処理により減量した量	0t										
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t										
⑪優良認定処理業者への処理委託量	70t										
⑫再生利用業者への処理委託量	0t										
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t										
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0t										
⑮優良認定処理業者への処理委託量	0t										

(第2面)

**計画の実施状況**

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック類 )

有償物量
不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量
②0t

排出量
①10.325t

項目	実績値	自ら中間処理 した量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理によ り減量した量	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	自ら中間処理した後 再生利用した量	自ら中間処理した後 再生利用した量	自ら中間処理した後 再生利用した量	自ら中間処理した後 再生利用した量
①排出量	10.325t	④0t	⑥0t	⑦0t	⑩10.325t	⑪1.225t	⑫10.325t	⑬0t	⑭1.225t
②+③自ら再生利用を 行った量	0t	④のうち熱回 収を行った量	⑤0t	⑥0t	⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑭0t	⑫のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑬0t	⑭0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t				⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量				
⑦自ら中間処理により減 量した量	0t								
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量	0t								
⑪全処理委託量	10.325t								
⑪のうち優良認定処理業者への 処理委託量	1.225t								
⑫再生利用業者への処理 委託量	10.325t								
⑬熱回収認定業者への処 理委託量	0t								
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量	0t								

)

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：紙くず)

有償物量
不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量
②0t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
③0t

自ら中間処理した後 再生利用した量
⑧0t

項目	実績値
①排出量	0.75t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑩全処理委託量	0.75t
⑪優良認定業者への処理委託量	0.75t
⑫再生利用業者への処理委託量	0.75t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収を行う業者への処理委託量	0t

自ら中間処理した量	自ら中間処理した後 の残さ量
④0t	⑥0t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	自ら中間処理した後 の残さ量
⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫0.75t	⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬0t	⑭のうち熱回収を行う業者への処理委託量	⑮0t	⑯のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	⑰0t
⑩のうち優良認定業者への処理委託量	⑪0t	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬0t	⑩のうち熱回収を行う業者への処理委託量	⑮0t	⑩のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	⑰0.75t
⑩のうち優良認定業者への処理委託量	⑪0t	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬0t	⑩のうち熱回収を行う業者への処理委託量	⑮0t	⑩のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	⑰0t
⑩のうち優良認定業者への処理委託量	⑪0t	⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬0t	⑩のうち熱回収を行う業者への処理委託量	⑮0t	⑩のうち熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	⑰0t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：木くず)

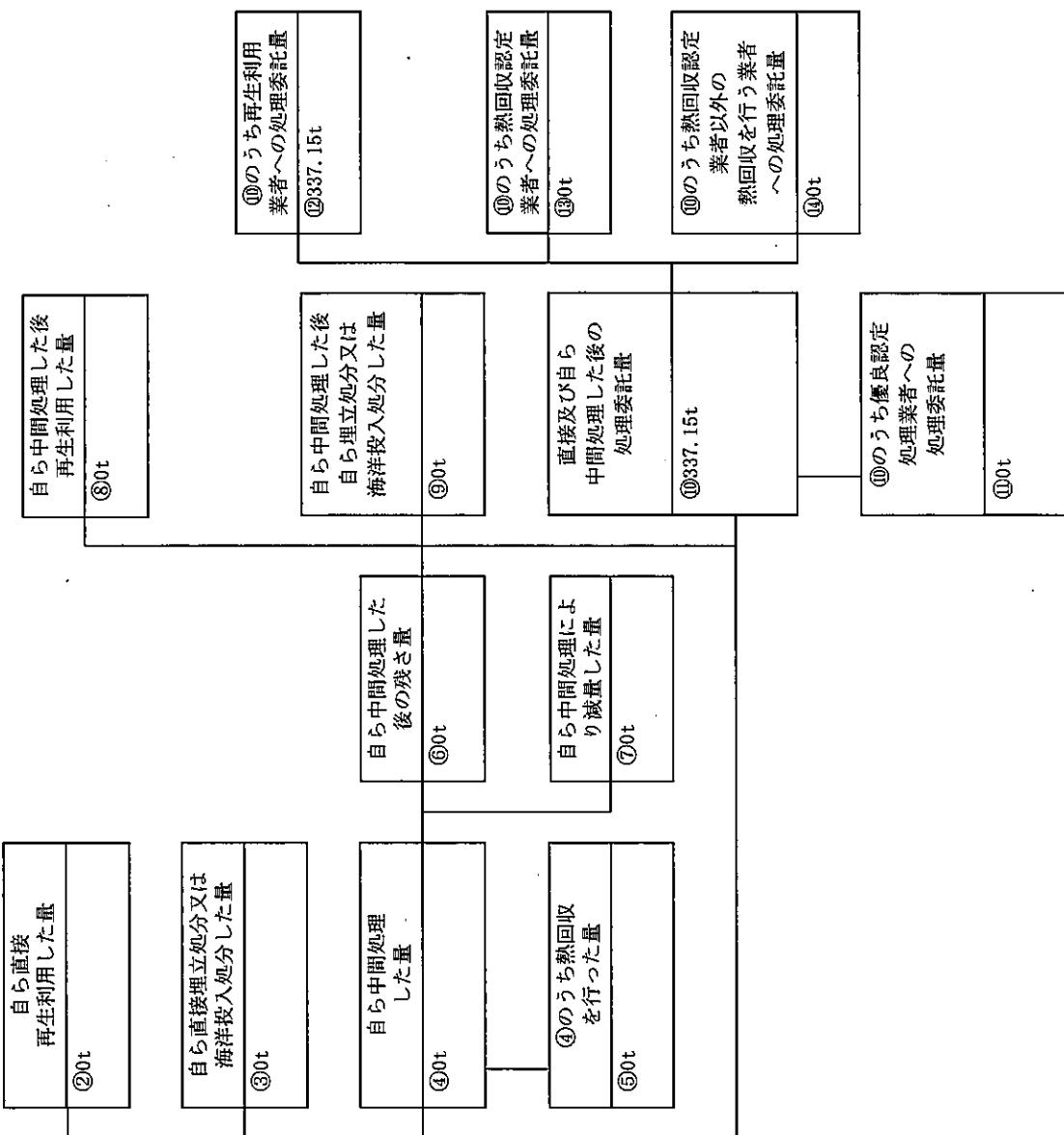
有償物量
不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量
②0t

排出量
①337.15t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
③0t

項目	実績値	自ら中間処理 した量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理によ り減量した量	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑪のうち優良認定 業者への処理委託量
①非出量	337.15t	④0t	⑥0t	⑦0t	⑧337.15t	⑩0t	⑪0t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t						
⑤自ら中間処理により減量した量	0t						
⑦自ら中間処理により減量した量	0t						
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t						
⑪全処理委託量	337.15t						
⑫優良認定業者への処理委託量	0t						
⑬再生利用業者への処理委託量	337.15t						
⑭熱回収認定業者への処理委託量	0t						
⑮熱回収を行う業者への処理委託量	0t						



(第2面)

### 計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：コンクリートがら)

```

graph TD
    OM[有機物質] --> WQ[不要物等発生量]
    OM --> PV[生産量]
  
```

		自ら直接 再生利用した量	
②	0t		
		自ら直接理立処分又は 海上投入処分した量	
③	0t		
排出量	①190t		

項目	実績値
①排出量	190t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t
⑤自ら熱回収を行った量	0t
⑦自ら中間処理により減量した量	0t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑪全処理委託量	190t
⑩優良認定処理業者への処理委託量	0t
⑫再生利用業者への処理委託量	190t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

自ら直接 再生利用した量	②0t	
自ら中間処理した後 再生利用した量	③0t	
直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	④0t	

自ら中間処理した量	④0t	自ら中間処理した後の残さ量	⑥0t
④のうち熱回収を行った量	⑤0t	自ら中間処理により減量した量	⑦0t

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧0t			
自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量	⑨0t			
直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑩190t			
⑪のうち再生利用 業者への処理委託量 ⑫190t		⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑬0t	⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑭0t	⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量 ⑮0t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： アスファルトコンクリートがら)

有機物量
不要物等発生量

自ら直接 再生利用した量 ②0t
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③0t

自ら直接 再生利用した量 ②0t
自ら中間処理 した量 ④0t

自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑤0t
自ら中間処理した後 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑥0t
自ら中間処理した後 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑦0t
自ら中間処理した後 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑧0t
自ら中間処理した後 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑨0t
自ら中間処理した後 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑩20t
自ら中間処理した後 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑪0t
自ら中間処理した後 自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ⑫20t

項目	実績値
①排出量	20t
②+③自ら再生利用を行った量	0t
④自ら熱回収を行った量	0t
⑤自ら中間処理により減量した量	0t
⑥+⑦自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t
⑧全処理委託量	20t
⑨自ら認定処理業者への処理委託量	0t
⑩再生利用業者への処理委託量	20t
⑪熱回収認定業者への処理委託量	0t
⑫熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : 管理型混合廃棄物 )

不要物等発生量

有償物量

自ら直接 再生利用した量
②0t

排出量
①42.25t

自ら中間処理した後 再生利用した量
③0t

項目	実績値	自ら中間処理した後 の残さ量	自ら中間処理した後 自ら埋立処分又は 海洋投入処分した量								
①排出量	42.25t	④0t	⑥0t	⑧0t	⑩0t	⑫0t	⑭0t	⑯0t	⑰0t	⑲0t	⑳0t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0t										
⑤自ら熱回収を行った量	0t										
⑦自ら中間処理により減量した量	0t										
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0t										
⑪全処理委託量	42.25t										
⑬優良認定処理業者への処理委託量	0t										
⑭再生利用業者への処理委託量	42.25t										
⑮熱回収認定業者への処理委託量	0t										
⑯熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t										

(第2面)

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。